

やまのうち通信



第 168 号

令和 3 年 4 月 20 日

山内自治振興センター
庄原市山内町 813-4
TEL・FAX (0824) 74-0451

✉ yamanouchi.jichi@gmail.com

物事に良いも悪いもない
考え方によって良くも悪く
もなる

—シェイクスピア—

山内地区戦没者慰霊祭 4月5日(月)10時



山内護国神社の慰霊祭にあたり、過去幾多の戦争により尊い命を失われました山内地区出身の戦没者の御霊に対し、謹んで哀悼の誠を捧げます。

ここにお祭りしてあります194名の方々は、遠くふる里を離れ、苛烈を極めた戦闘の中で傷つき斃れた皆様、異境の地で飢えに苦しみ、病に冒されながら亡くなられた皆様、また、遠く深い海に呑み込まれ亡くなられた皆様、さらに、内地においても、原子爆弾等により、尊い命を失われた方々であります。

皆様方は、祖国の行末を案じ、ふる里山内や家族に想いを馳せながらも、二度と郷土の土を踏みしめることが出来なかった、そのご無念を察しますとき、誠に痛惜の念に堪えません。

また、ご遺族の皆様には、決して癒されることのない深い悲しみを抱えながらも、幾多の困難を乗り越え、郷土の発展のためにご尽力を賜りました。

山内地区では、皆様方の尊い犠牲を無駄にすることなく、御霊の安からんことと不戦の誓いを表すため、地区民総意を挙げて、この山内の地に、他の地域では例の少ない、護国神社を建立し、今日に至っております。ここに改めて、戦没者の皆様方のご冥福を心よりお祈り申し上げますとともに、ご遺族の皆様に対し深く敬意と感謝を表します。

終戦から76年を迎えますが、戦後生まれの世代が大半を占めるようになった今、この素晴らしい平和と繁栄を当然のように考えてしまいがちです。しかし、私たちが当然のように享受している平和と豊かさは、戦禍の中で亡くなられた多くの方々の尊い犠牲の上に築かれているという事実を決して忘れてはなりません。

悲惨な戦争の歴史を二度と繰り返さないためにも、その記憶を風化させることなく、未来へと語り継ぎ、希望に満ち溢れ、健康で心豊かな社会を永遠に築いていくことが、今生きている私たちに課せられた使命だと思っています。

この慰霊祭にあたり、戦没された方々の、祖国の平和と発展への熱い思いを改めて深く心に刻むとともに、ここ山内の地から、声を大にして「不戦の誓い」と「世界恒久平和の実現」を強く訴えたいと存じます。

終わりに、今一度、戦没者の御霊の安からんことをお祈り申し上げますとともに、ご遺族の皆様のご健勝を祈念申し上げ追悼の言葉といたします。

山内地区社会福祉協議会 会長 三橋 豊

最近では、新型コロナウイルスの影響もあり、離れて暮らす高齢の親の暮らしをどのように支えていくか、不安を感じる声を聞くことが多くなったように感じます。

緊急事態宣言の発令等により、帰省もままならない中で、一人暮らしやご両親の見守りや、介護への不安、離れて暮らすことに葛藤を抱える方もおられることでしょう。

さまざまな事情により、遠距離介護を選択せざるを得ない場合もあります。親子でお互いの理解を得ながら、お互いの暮らしを継続・両立していく工夫を考えていくことができればと思います。

■遠距離介護の長所

- ・転居しなくてよい
- ・介護保険サービスを効率よく利用できる
- ・介護ストレス軽減

■遠距離介護の短所

- ・費用がかかる
- ・何かあった場合に早急に対応できない

※遠距離介護のポイント

- ・親とのコミュニケーションを密にする
- ・近所の人や専門職の協力を得る
- ・親の「かかりつけ医」に相談する



やはり、いちばんは親や周囲とのコミュニケーションをどのように保つかがポイントです。最近では、画面付きスマートスピーカーを使ったビデオ通話を使う方もおられます。声だけではなく、顔や姿を見て話しができる安心感、また、何かあったときもすぐに状況が確認しやすいという安心感もあります。

「使いこなせるか？」と不安もあると思いますが、最近の機器は声で操作できたり、音楽やニュースを楽しめる機器もあり、安心半分、娯楽も半分と考えると良いのかもしれませんが。中には、新しい情報機器を使うことで、人とのつながりを得て、日々の表情が明るく、前向きな気持ちなられた方もいます。

テレビなどでも、「見守りカメラ（24時間スマホから確認できる）」「スマートリモコン（スイッチを自分のスマホで一括管理できる）」「ボタンコントローラー（スマホを使ってヒーターのスイッチを操作できる）」など、この時代だからこそ必要性が見えてきて開発されてきたものも多く紹介されています。

まだまだ、発展途上とも言えますが、新しい情報機器やプロの力を借りて、お互いの暮らしを尊重した新しい見守りのスタイルを見つけることができればと思います。



相扶の郷居宅介護支援事業所 係長・ケアマネジャー 長瀬 並

「山内体操教室のみなさんから、活動報告です！！」



天気の良いのでウォーキングへ出かけました！山内小学校の国道沿いの桜がとても綺麗でした♪



おたがいさまネット



収まりの見えないコロナ禍の中で新年度が始まりました。昨年実施された国勢調査では、庄原市の人口は33,721人で、前回調査（2015年）から3,300人減少しているそうです。高齢化と人口減少の同時進行で地域力が弱まっているところへ、コロナウイルス感染を警戒して行事や集まりの場も少なくなり、ますます人と人のつながりが薄れているように思います。高齢者にとっては孤立し易い状況といえるでしょう。また近年は豪雨や台風による自然災害が毎年のように発生しており、平時からの防災・避難訓練は命を守るための欠かせない活動となっています。



このような状況下で、10年目を迎えた「おたがいさまネット」は地域住民が主体的に取り組む共助の活動としてあります。「一人暮らし高齢者等の見守りと災害時の避難支援」の基本目標は、「安心・安全に暮らせる地域づくり」のために、これからも継続を図っていかねばなりません。

この点を踏まえ今年度は、防災マップを活用した自治会ごとの防災・避難訓練の実施や、高齢者の孤立を防ぐ地域での「集まりの場づくり」などを呼びかけていきたいと思えます。当面はコロナウイルスへの感染予防対策をとりながら取り組むこととなりますが、区民の皆さまにはご理解・ご協力の程よろしくお願いたします。地域マネージャー



三上 智道

おくりもの

◆香典返し

3/13～4/12

山内町 松村幸美様（故 早苗様）
尾引町 近藤克三様（故 丈登様）
水越町 熊原有恵様（故 正様）



ご芳志ありがとうございます。

ご趣旨を大切に地域の社会福祉増進及び地域振興の資金として、活用させていただきます。

山内地区社会福祉協議会

令和3年度 各自治会関係者名簿（敬称略）

自治会名	自治会長	民生委員	1人暮らし相談員	老人会
本郷	花房豊	福田秋美	堀江哲弘	近藤良人
殿垣内	松田一馬			松田昭吾
行里	長泉進	岡崎照昭	茶木満里子	谷本佑一
日向	横谷誠			杉山仁
隠地	國近浩二	金藤宏明	國利嫩子	廣畑トキ卫
山王	松村修治			児玉祥功
開拓	百間不二夫	畠田憲一	吉原孝文	—
木戸	安藤優			藤岡辰彦
尾引	吉原孝文	正長みどり	—	—
平田	長重元文	原田正幸	—	栗原和男
大下	稲田憲紀			—
高茂	三橋豊	三上智道	三橋寿子	末石明
表水越	金子久則	藤木邦明	藤木百合子	—
後水越	塚本邦彦		石原務	—

5月の予定



11日 ふれあい給食

20日 自治会長会

25日 ふれあい給食

※新型コロナウイルス感染拡大防止の為、状況により中止となる場合があります。

4月6日午前8時半ごろ山内自治振興区の東の空に青色の気球が飛来してきました。



「気球が飛来して来ました！！」

七塚駅周辺から本郷町方面に飛来し、本郷町と田原町の境目付近に着陸しました。

気球の所有者、操縦者は不明です。

写真提供者 山内町 松村修治様

（写真の提供をいただきありがとうございます。）

やまのうち通信では、地域のみなさんからの投稿写真を募集しています。投稿希望の方は写真データを山内自治振興区へお持ちいただくか、(yamanouchi.jichi@gmail.com)へお送りください。



定住促進プロジェクト（空き家活用）だより

「山内へようこそ！！」

4月、三次から引っ越してこられた理学療法士の高橋さんご一家に山内への移住のご感想をお聞きしました。（高橋家は6人家族。長男さんは今、東京におられます。）



山内のみなさん こんにちは。これから宜しくお願い致します。

私たちは長女が生まれる前から廿日市市に10年以上住んでいましたが、主人の実家である島根県雲南市に近く、尚且つ田舎暮らしを楽しめるということで、三次市三良坂町へ転入したのが4年前のことでした。

三次の空き家バンクに登録して空き家探しに3年を費やしたものの、理想のマイホームに出会えずにいました。

そんな折、1年前 山内の定住マネージャーさんとの出会いが高橋家の未来を

大きく変えてくれました。そして、てごおし隊の皆様のおかげで、夢のマイホームを手に入れるに至りました！

旧植松邸は、正に私達の思い描いた理想のマイホーム。自然に囲まれ、動物も自由に飼える場所でした。草地に寝そべて広い空を見上げてゴロゴロしたり、夜は満点の星空を見上げたり…。最高の毎日を送っています。そして、何と言っても地域の方々の温かさ、親切に驚き、感謝しています。これから、末永く宜しくお願い致します。

高橋家の皆さんありがとうございました。こちらこそ末永くよろしく願いいたします。

そして3月末に6人家族のパン屋さんの移住も決まりました！！また来月号にてご紹介いたします。

「山内てごおし隊出動！！」



3月は空き家3軒、のべ30人に出動していただき片づけることができました。早速、広島、岡山、庄原から移住希望の4家族の皆様が内覧くださいました。結果は来月号で報告させていただきます。

地域マネージャー

藤田典久・寺西玉実

お知らせ 「今年度の区民運動会が中止になりました」

昨年に続き、新型コロナウイルスの関係で本年度も区民運動会は中止となります。4月中旬の全国の感染状況は第4波が来たといわれ始めており、大都市では「蔓延防止法」が出されています。そういう状況下では区民運動会の開催は無理と判断し、やむなく中止といたします。